

令和2年度 都道府県部会 事業報告

1. 活動テーマ

都道府県型保健所の新型コロナウイルス感染症対策等健康危機管理における課題について

2. 目的

新型コロナウイルス感染症対策での保健師活動を振り返ることで、感染症等対策を含む健康危機管理における保健師体制強化を図るため、今年度は、保健師体制の課題を抽出し、次年度の対策検討につなげたい。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	5月	メール会議	【第1回】5名 ・事業報告と今年度の取組の方向性について
2	6月	メール会議	【第2回】5名 ・事業計画・予算等について
3	8月～9月	メール会議	【第3回】4名 ・調査計画書、課題抽出様式の作成について
4	10月～12月		・課題抽出（委員4名からの聞き取り） ・意見の集約
5	2月	メール会議	【第4回】 ・課題のまとめの確認

4. 結果・課題

保健師が担っている電話相談や検査、検体・患者移送、疫学調査及び健康観察の中での課題抽出を行ったが、状況が日々変動し集約が困難であった。課題として、統一した支援のためのマニュアルや情報共有、保健師のスキル向上(相談技術等)、連携と個人情報保護などが抽出された。

5. 支部活動の特徴

今年度は、コロナ禍に伴い協議の場を持たず、意見集約においても各道県クラスター発生や所属業務によって時間を確保できない中での活動であった。

6. 委員

○久保 倫子 鹿児島県大島支庁保健福祉環境部 健康企画課長
尾崎 裕美 和歌山県福祉保健部健康局医務課 課長補佐兼看護班長
鹿野 令子 北海道千歳保健所 健康推進課長
割田 直美 群馬県利根沼田保健福祉事務所 危機管理専門官
坂本 裕子 鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課医療人材確保室 参事